

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%	○				
算数	63.4%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%				○	
情報の扱い方に関する事項	86.9%	○				
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%	○				
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%	○				

【考 察】

- 登場人物の人物像や心情、相互関係などについて、描写を基に捉えることや書かれている情報を整理して理解することに課題が見られました。文章に書かれていることを正しく読み取る力を高めていくために、会話文や文章表現、資料などを手がかりにしながら読み進めていく指導を充実させていきます。
- 「書くこと」では、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にして書くことに課題が見られました。書く材料を分類したり関係付けたり、事実と感想、意見を区別して書くなど、よりよい書き方について指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%	○				
図 形	66.3%	○				
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%	○				

【考 察】

- 基礎・基本の確実な定着を図るために、数値や式の意味について考えさせたり、適用問題の時間を確保したりするなど、指導の工夫を図ります。また、反復練習にも積極的に取り組ませています。
- 「変化と関係」では、「速さ」の理解に課題が見られました。速さ、道のり、時間の関係性について確認するとともに、数直線や図などを使って考えたり説明したりすることのよさを理解させることで、よりよい解決方法を見だし、正しい答えを求めることができるように指導していきます。